

### 3. 次代に引き継ぐ快適で美しい安らぎのまち

#### －生活・自然環境の向上－

市民、企業・団体と行政の協働により、次代に向けて持続可能な循環型社会の構築を目指すとともに、環境と共生する緑豊かな美しいまちづくりを進めます。また、市民の生命と財産を守るため災害に強いまちづくりを進め、安全で安心なまちをつくりまします。

#### 1. 自然環境保全

- 自然環境保全・保護の意識の高揚
- 自然環境の保全・再生と創出
- 自然との共生

#### 2. 公園・緑地緑化の推進

- 公園・緑地の創出
- 公園・緑地の保全
- 緑化の推進
- 農地の保全・活用

#### 3. 景観形成

- 総合的な景観形成の推進
- 都市景観の形成
- 自然環境の保全・形成
- 市民参加の景観づくり

#### 4. 住宅・住環境・定住促進

- まちなか居住の再生
- 公営住宅ストックの有効活用
- 良好な居住環境の誘導
- 市内への定住促進
- 建築物の安全性の確保

#### 5. 上水道

- 安心・快適な生活環境の創造
- 危機管理対策の充実
- 持続可能な事業経営
- 満足度の高いお客様サービスの向上
- 環境に配慮した事業の推進

#### 6. 下水道

- 安心・快適な生活環境の創造
- 危機管理対策の充実
- 持続可能な事業経営
- 満足度の高いお客様サービスの向上
- 環境に配慮した事業の推進

#### 7. 河川・水路

- 河川の改修
- 浸水地域の解消
- 水辺空間の保全・整備
- 河川美化・浄化の推進
- 水路等の維持・管理

#### 8. 循環型社会の構築

- 循環型社会の構築
- ごみの減量化と発生抑制
- リサイクルプラザの活用
- ごみ処理体制の整備
- ごみ処理施設の管理・運営
- し尿処理の適正な推進

#### 9. 環境保全

- 環境美化
- 地球環境の保全
- 公害防止対策
- 快適環境の保全

#### 10. 防災対策

- 災害に強いまちづくり(予防対策)
- 災害応急対策
- 災害復旧対策
- 自主防災組織の強化

#### 11. 消防

- 防火思想の普及・啓発
- 火災予防対策の推進
- 防火管理体制の充実
- ネットワーク化・情報化の充実
- 常備消防の充実
- 非常備消防の充実

#### 12. 防犯対策

- 地域防犯力の向上(地域防犯活動の促進・支援)
- 防犯体制の強化

#### 13. 消費生活

- 消費者利益の擁護及び増進
- 消費者教育の推進
- 消費者相談の充実
- 適正な計量の実施

#### 14. 交通安全対策

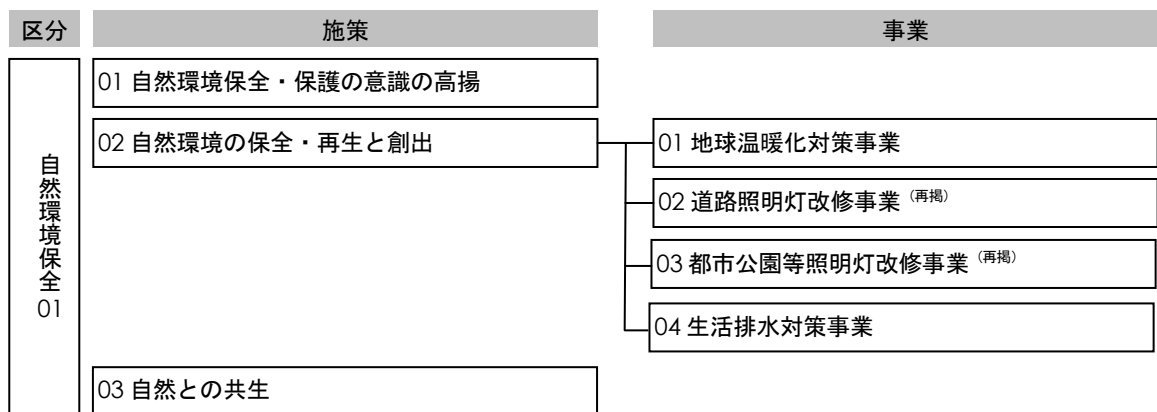
- 交通安全意識の向上
- 交通環境の整備・向上
- 交通事故被害者の救済

# 1 自然環境保全

## 施策の基本的考え方

- 自然を大切にすること意識の高揚と自然保護活動を促進します。
- うるおいを感じる自然環境の保全・創出に努めます。
- 自然と人とが共生できる土地利用を推進します。

## 施策・事業の体系



02 自然環境の保全・再生と創出

<b>■地球温暖化対策事業</b> 【事業No.03010201】	担当部課係名	環境部	環境保全課	ダイヤル	241-4312
			環境保全係 温暖化対策係		

**事業概要**

- 市民、事業者及び行政が協働し、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量の削減を図る。

**現況と課題**

- 地球温暖化問題は、地球規模における全ての人類が直面している問題であり、地方自治体単位で有効な解決が図られる問題ではないが、市民一人ひとりの意識改革の浸透による、足元からの地道な二酸化炭素排出量削減の積み重ねが非常に重要である。このことから本市では、平成23年度に策定した「甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき温暖化対策に取り組んで行くが、今後は国におけるエネルギー政策の転換が考えられるため、国及び県の温暖化対策の動向を注視する中で、本実行計画の必要に応じた見直しを行う。

**今後の事業展開**

- 甲府市地球温暖化対策地域協議会等との協働による新エネ・省エネ対策の普及・啓発。
- 児童・園児を対象とした環境教育の充実・拡大。
- 改正省エネ法に伴う庁内エネルギー使用量の低減の推進。
- 技術開発や普及状況等を考慮する中での、クリーンエネルギー設備の設置世帯に対する助成金制度の充実。
- 甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進捗管理。
- （仮称）第二次甲府市環境基本計画の策定。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
温室効果ガス排出量削減率(%) (対:平成20年度基準)	—	—	△3	△5	△7	△7
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	17,411		33,868	25,239	25,239	84,346

<b>■道路照明灯改修事業</b> 【事業No.03010202←No.05050201】再掲	担当部課係名	都市建設部	道路河川課	ダイヤル	237-5843
			道路係		

<b>■都市公園等照明灯改修事業</b> 【事業No.03010203←No.03020101】再掲	担当部課係名	都市建設部	公園緑地課	ダイヤル	223-6101
			公園緑地係		

<b>生活排水対策事業</b> <b>【事業No.03010204】</b>	担当部課係名	環境部	環境保全課	ダイヤル 241-4312
			公害対策係	

### 事業概要

- 健全な動植物が生息する自然環境を目指し、公共用水域における良好な水環境の保全のため、更なる水質改善を図る。

### 現況と課題

- 公共用水域の汚濁の原因となっている生活排水による負荷の低減を図るため、浄化槽設置者に浄化槽の清掃・保守管理・水質検査の3つの義務についての啓発・指導を強化していくことが必要である。

### 今後の事業展開

- 公共用水域の水質は、本事業により改善傾向を示しているが、生活排水対策を推進していくためには、継続的な事業の実施が重要である。このため、引続き啓発事業、浄化槽の維持管理指導、浄化槽設置補助事業を行い、公共用水域の水質の改善に努めるとともに、浄化槽の水質検査受検率や保守点検・清掃業務の契約率の向上に向けた施策の検討を行っていく。

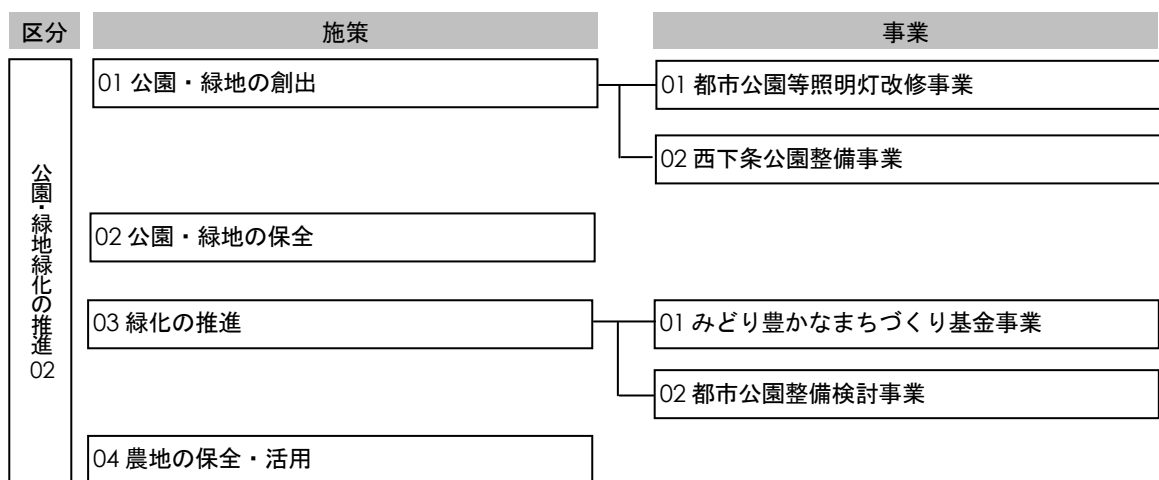
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
環境基準値の達成 (mg/l)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	5.0以下
	3.2	5.0以下	5.0以下	5.0以下	5.0以下	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	15,438		20,603	20,519	20,629	

## 2 公園・緑地緑化の推進

### 施策の基本的考え方

- 都市環境の改善や市民のレクリエーション需要に応える都市公園・河川敷緑地等の整備に努めます。
- 健康で文化的な市民生活のために、緑地の保全及び既設公園や動物園の充実に努めます。
- 公共施設及び地域の緑化を推進し、緑豊かな明るい住みよい環境づくりに努めます。
- 市街化区域内やその周辺に広がる農地の保全・活用を図り、緑地の保全に努めます。

### 施策・事業の体系



## 01 公園・緑地の創出

■都市公園等照明灯改修事業（省エネ・グリーン化推進事業）【事業No.03020101】	担当部課係名	都市建設部	公園緑地課	ダイヤル	223-6101
			公園緑地係		

### 事業概要

- 甲府市が温室効果ガスの排出削減を率先して取り組むことを目的として実施する、省エネ・グリーン化推進事業の一環として、都市公園等の照明灯を省エネ型照明であるLED照明へ交換する。

### 現況と課題

- LED灯具の単価は従来の灯具の数倍程で、非常に高価である。なお、公園内の照明設備は多くが老朽化しているため、灯具の交換とともに照明灯用柱や地中電線の交換が必要な場合がある。その場合は、照明設備の配置の見直しを検討する必要がある。

### 今後の事業展開

- 平成24年度以降は、都市公園管理事業の一環として、公園内のトイレの照明灯等についても、LED照明に順次交換を行う。なお、LED照明の市民への普及、啓発を図るため、公園内の照明灯をLEDに交換工事していることがわかる看板を設置するなどを行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H24～26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
消費電力量の削減量 (kwh)	47,124	19,879	6,278	6,278	6,278	18,834
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24～26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	16,479		4,000	4,000	4,000	12,000

■西下条公園整備事業 【事業No.03020102】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係		

### 事業概要

- 甲府南部工業団地造成事業の一環として造成された当公園を、近隣住民等の日常的な野外休憩スペースなどとして利用できるよう整備するものである。

### 現況と課題

- 地元関係者等と協議を行いながら、公園として快適に利用できる整備内容を検討する。

### 今後の事業展開

- 平成24年度 公園整備工事

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H24～26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
公園整備率	—	0	100	—	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24～26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	11,000		39,000	—	—	39,000

\*のついた用語は用語解説をご参照ください。

03 緑化の推進

<b>■みどり豊かなまちづくり基金事業</b> 【事業No.03020301】	担当部課係名 都市建設部	公園緑地課	ダイヤル 223-6101
		公園緑地係	

**事業概要**

- 緑の織りなすゆとりあるまちづくりや花のあるまちづくりの推進を図る。

**現況と課題**

- 花を供給することで、植栽や維持管理を行っているが、さらに花いっぱい運動を推進していくためには、自らが作り育てていくという意識の改革を図る必要がある。

**今後の事業展開**

- 地域の緑化を推進し、緑豊かな明るい住みよい環境づくりに努め、継続して自らのまちは自らの手でつくるという意識の高揚を図る。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H24~26)
	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度		
花いっぱい緑いっぱい運動の推進として花の供給数(株)	116,378	110,000	110,000	110,000	110,000	330,000	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)		計画額合計 (H24~26)		
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度		
	10,677		10,383	10,383	10,383	31,149	

<b>■都市公園整備検討事業</b> 【事業No.03020302】	担当部課係名 都市建設部	都市計画課	ダイヤル 237-5814
		計画係	

**事業概要**

- 本市の都市計画公園・緑地については、人口の増大や経済の発展、各種開発計画等に対応して、都市施設の計画決定を行い、計画的に整備を行ってきた。しかし、都市計画公園の中には、都市計画決定後数十年も整備されない公園があり、今後の整備にあたっては、都市計画法に基づく建築制限を長期間課せられている関係者を含めた地域社会との合意形成を図ることが、これまで以上に重要な課題となっている。また、社会経済情勢の変化等によって、その役割や機能が大きく変化したこともあり、都市計画公園・緑地の見直しを行い、効率的・効果的な整備を図る。

**現況と課題**

- 都市計画決定後、長期未着手のため区域内に多数の家屋が建築され市街化が進んでおり、公園の必要性を含め検証を行う必要がある。

**今後の事業展開**

- 平成22年度より四ヵ年をかけ、「甲府市緑の基本計画」策定委員会の設置、県との協議、市民との合意形成に向けてのパブリックコメント・住民説明会の実施などを経て、「甲府市緑の基本計画」を策定する中で、都市計画公園・緑地の見直しを行う。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H24~26)
	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度		
「甲府市緑の基本計画」の承認 (%)	20	60	80	100	—	100	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)		計画額合計 (H24~26)		
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度		
	9,206		3,347	—	—	3,347	

# 3 景観形成

## 施策の基本的考え方

- 都市環境の美化を推進し、公共施設の美観の向上や広告物等の景観への調和に努めます。
- 魅力的な都市景観の誘導に努めます。
- 緑地や自然景観の保全に努めます。
- 市民参加による景観形成を促進し、住宅地の良好な景観の確保に努めます。

## 施策・事業の体系

区分	施策	事業
景観形成 03	01 総合的な景観形成の推進	01 都市基本計画推進事業 (再掲)
	02 都市景観の形成	01 みどり豊かなまちづくり基金事業 (再掲)
	03 自然景観の保全・形成	
	04 市民参加の景観づくり	



## 01 総合的な景観形成の推進

■都市基本計画推進事業 【事業No.03030101←No.05020101】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画課	ダイヤル	237- 5819
			計画係		

## 02 都市景観の形成

■みどり豊かなまちづくり基金事業 【事業No.03030201←No.03020301】再掲	担当部課係名	都市建設部	公園緑地課	ダイヤル	223- 6101
			公園緑地係		

## 4 住宅・住環境・定住促進

### 施策の基本的考え方

- 中心市街地の活性化と魅力あるまちづくりに努めます。
- 社会的セーフティネットとしての公営住宅の整備活用に努めます。
- 開発許可制度などにより、良好な居住環境の誘導に努めます。
- 融資制度や助成制度などの活用により、市内への定住促進に努めます。
- 住宅耐震化支援制度により建築物の安全性の確保に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
住宅・住環境・定住促進 04	01 まちなか居住の再生	01 まちなか定住促進事業
		02 中心市街地商業等活性化事業 (再掲)
		03 甲府駅周辺土地区画整理事業 (再掲)
		04 甲府駅周辺まちなか回遊道路整備事業 (再掲)
		05 都市計画道路整備検討事業 (再掲)
		06 和戸町竜王線整備事業 (再掲)
		07 まちなか健やかサロン運営事業 (再掲)
		08 中心市街地まちづくり会議運営事業 (再掲)
	02 公営住宅ストックの有効活用	01 公営住宅整備事業
	03 良好な居住環境の誘導	01 アスベスト飛散防止対策事業
	04 市内への定住促進	01 まちなか定住促進事業 (再掲)
	05 建築物の安全性の確保	01 木造住宅耐震化支援事業

## 01 まちなか居住の再生

■まちなか定住促進事業 【事業No.03040101】	担当部課係名	都市建設部	都市計画課	ダイヤル	237-5814
			計画係		

**事業概要**

- 中心市街地（中心市街地活性化基本計画区域）への定住を促進するため、一般住宅の建築及び分譲住宅の購入等に対し補助を行い、中心市街地に居住する世帯数の増加を図り、定住人口を増加させる。

**現況と課題**

- 平成23年度までに事業の目標値である定住人口増加数285人に対し、約9割の定住人口が見込まれる。最終年度となる平成24年度においても定住人口の増加という事業目標の達成に向け、市民や事業者などへの周知を図る必要がある。また、転入者のニーズの把握と、施策推進に努めることなどにより、中心市街地活性化を推進することが必要であると思われる。

**今後の事業展開**

- 市民や事業者などへの周知を図り円滑な事業の推進に努めるとともに、事業を利用した転入者の意向調査を行う中で、当事業の有効性の検証や今後の中心市街地の活性化事業への反映の参考とする。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H24～26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
増加居住世帯数(世帯)	85	14	39	—	—	39
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24～26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	7,000		19,500	—	—	

■中心市街地商業等活性化事業 【事業No.03040102←No.04010201】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5693
			商工振興係		
■甲府駅周辺土地区画整理事業 【事業No.03040103←No.05010101】再掲	担当部課係名	都市建設部	甲府駅周辺土地区画整理課	ダイヤル	230-1029
			換地係・補償係・工事係		
■甲府駅周辺まちなか回遊道路整備事業 【事業No.03040104←No.05010102】再掲	担当部課係名	都市建設部	甲府駅周辺土地区画整理課	ダイヤル	230-1029
			換地係・補償係・工事係		
■都市計画道路整備検討事業 【事業No.03040105←No.05040201】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画課	ダイヤル	237-5814
			計画係		
■和戸町竜王線整備事業 【事業No.03040106←No.05040102】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係		
■まちなか健やかサロン運営事業 【事業No.03040107←No.01050401】再掲	担当部課係名	福祉部	健康衛生課	ダイヤル	237-2586
			保健係		
■中心市街地まちづくり会議運営事業 【事業No.03040108←No.06020102】再掲	担当部課係名	企画部	中心市街地振興課	ダイヤル	237-5319
			計画係		

## 01 公営住宅ストックの有効活用

<b>■公営住宅整備事業</b> <b>【事業No.03040201】</b>	担当部課係名 都市建設部	住宅課	ガイムン 237-5812
		住宅係	

### 事業概要

- 昭和30年度から42年度に建設された北新三団地（北嶺荘・竜雲荘・むつみ荘）は、老朽化が著しく、居住面積が狭小、浴室が未設置である。優良な住宅ストックを確保することを目的に、小学校を挟んで南北に位置していた団地を北新小学校北側に集約して建替整備を行う。  
事業実施に当たっては居住面積水準の確保等を図るとともに、子育てしやすい居住環境、高齢者・障害者に配慮した住宅を整備し、安心・安全で良好な居住環境づくりを行う。

### 現況と課題

- 小学校と団地を一体的に整備するという方針を含め、北新地区の“まちづくり”の観点からの事業推進が求められている。建替に際しては、既存入居者の市営住宅ほか仮住先の確保など、移転・住替えを勘案しながら事業を推進する必要がある。

### 今後の事業展開

- 当初計画、再生計画に基づき、平成24年度から建替団地の建設工事に着手。平成31年度までに建替事業を完了していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
建替え戸数(戸)	—	—	—	123	—	123
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	296,120		769,155	1,479,102	274,990	

03 良好な居住環境の誘導

■アスベスト飛散防止対策事業 【事業No.03040301】	担当部課係名	都市建設部	建築指導課	ダイヤル	237-5828
			建築指導係		

事業概要

- この事業は、本市全ての建物を対象に、アスベスト被害の発生を予防し、市民の健康の保護及び生活環境の保全を図るため、成分調査や除去費用に対して補助するものである。

現況と課題

- 経済状況の落ち込みにより除去費用を負担する余裕が建物所有者にない。

今後の事業展開

- 甲府市のホームページや広報誌を活用し、本制度を広く市民に周知するとともに、イベント会場でのPR活動などを積極的に進める。

成果指標	実績値		見込み値			目標値合計 (H24~26)
	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
除去等費用の補助件数 (件)	9	6	12	—	—	12
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
	8,600		8,600	—	—	

04 市内への定住促進

■まちなか定住促進事業 【事業No.03040401←No.03040101】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画課	ダイヤル	237-5814
			計画係		

## 05 建築物の安全性の確保

■木造住宅耐震化支援事業 【事業No.03040501】	担当部課係名	都市建設部	建築指導課	ダイヤル	237-5828
			建築指導係		

### 事業概要

- 大規模地震による木造住宅の倒壊から、市民の生命及び財産等を保護するとともに、避難路及び緊急輸送路等の確保による被害拡大の抑制を目的として、地震に強い安全で安心なまちづくりを目指す。

### 現況と課題

- 大規模地震の発生が懸念されており、建築物の耐震化率\*の向上が急がれている。本市においては、無料耐震診断から耐震改修費の補助までの一貫した支援体制が整っているが、耐震改修には多くの自己資金が必要となることもあり、申し込みは伸び悩んでいる。

### 今後の事業展開

- 引き続き、ホームページや広報誌を活用して啓発活動を行っていくとともに、「耐震相談窓口」を建築指導課に常設し、各種イベント等に「出張耐震相談窓口」を開設する。また、自治会単位ごとのきめ細かな説明会を通して事業の啓発に務め、粘り強く耐震化を進めていく。
- 甲府市耐震改修促進計画に基づく耐震化の数値目標の実現に向け、計画に位置づけた取り組みを趣向を変えながら、大規模地震対策の緊急性を徹底するなど市民意識の醸成に努める。
- 耐震化促進を図るため、耐震診断業務に耐震改修費の概算見積書の作成、工事内容の説明などを新たな業務として加え、診断後のフォローによる耐震改修への足がかりとする。また、新たに耐震補強設計費を対象とした補助制度を創設し、改修促進を図る。

成果指標	実績値		見込み値			目標値			目標値合計 (H24~26)
	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
耐震改修費の補助戸数	16	16	21	21	21				63
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)			
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度				
	20,640		22,440	22,440	22,440	67,320			

\*のついた用語は用語解説をご参照ください。

## 5 上水道

### 施策の基本的考え方

- 恵まれた水源を安心して未来へとつなぎ、安全でおいしい水道水の供給に努めます。
- 危機管理体制の強化を図るとともに、水道施設耐震化計画に基づく地震対策、浄水場等主要施設の危機管理対策に努めます。
- 経営基盤の強化、事業用資産の適正な管理に努めます。
- 親しみやすくわかりやすい情報の提供、情報共有協働による透明性の高い事業経営、利便性の高いサービスの提供に努めます。
- 環境会計の導入、効率的な水運用、環境負荷の軽減と新エネルギーの活用に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
上水道 05	01 安心・快適な生活環境の創造	
	02 危機管理対策の充実	
	03 持続可能な事業経営	
	04 満足度の高いお客様サービスの向上	
	05 環境に配慮した事業の推進	

## 6 下水道

### 施策の基本的考え方

- 汚水管きよの整備、公共用水域の水質保全に努めます。
- 危機管理体制の強化を図るとともに、雨水管きよの整備による浸水被害の解消、下水道施設の地震対策、合流式下水道\*改善に努めます。
- 経営基盤の強化、事業用資産の適正な管理に努めます。
- 親しみやすくわかりやすい情報の提供、情報共有協働による透明性の高い事業経営、利便性の高いサービスの提供に努めます。
- 環境会計の導入、環境負荷の軽減と新エネルギーの活用に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
下水道 06	01 安心・快適な生活環境の創造	
	02 危機管理対策の充実	
	03 持続可能な事業経営	
	04 満足度の高いお客様サービスの向上	
	05 環境に配慮した事業の推進	



## 7 河川・水路

### 施策の基本的考え方

- 一級河川の改修促進に努めます。
- 計画的な整備によって浸水や冠水の防止に努めます。
- 良好な水辺環境形成に向けた河川敷整備に努めます。
- 河川美化に向けた啓発に努めます。
- 水路等の機能確保と財産の適切な管理に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
河川・水路 07	01 河川の改修	01 一般河川改修事業
	02 浸水地域の解消	
	03 水辺空間の保全・整備	
	04 河川美化・浄化の推進	
	05 水路等の維持・管理	

## 01 河川の改修

■一般河川改修事業 【事業No.03070101】	担当部課係名	都市建設部	道路河川課	ダイヤル	237-5842
			河川係		

### 事業概要

- 普通河川、生活関連水路の改修整備を行い、住民の生活環境の向上及び浸水被害から財産保全を図る。

### 現況と課題

- 豪雨時には排水先の一級河川の増水によって排水がスムーズにできずに上流の一般河川・水路が溢水する状況がある。このように市内一級河川の改修の遅れにより、内水排除に支障をきたしている地区では、効率的な排水系統の整備に苦慮している。

### 今後の事業展開

- 今後も優先度や事業の効果を考慮しながら継続して事業を進める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
河川改修実施率(%) (年度施工延長/年度目標延長)	72	94	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	84,955		55,445	156,474	86,474	

## 8 循環型社会の構築

### 施策の基本的考え方

- 分別回収の推進とリサイクル化（再資源化）の推進を図ります。
- ごみ減量化の啓発活動と新たな回収システムの構築に努めます。
- 市民意識の高揚を図るため、環境に関する情報発信に努めます。
- 新ごみ処理施設の建設推進を図ります。
- 処理施設の適正管理に努めます。
- 収集体制の充実と処理施設の適正管理に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
循環型社会の構築 08	01 循環型社会の構築	01 環境リサイクルフェア事業
		02 明るくきれいなまちづくり基金事業
		03 ごみ減量と資源リサイクル事業
	02 ごみの減量化と発生抑制	01 環境リサイクルフェア事業（再掲）
		02 明るくきれいなまちづくり基金事業（再掲）
		03 ごみ減量と資源リサイクル事業（再掲）
	03 リサイクルプラザの活用	
	04 ごみ処理体制の整備	01 ごみ処理施設建設事業
		02 最終処分場建設事業
	05 ごみ処理施設の管理・運営	
	06 し尿処理の適正な推進	

## 01 循環型社会の構築

<b>■環境リサイクルフェア事業</b> 【事業No.03080101】	担当部課係名	環境部	環境保全課	ダイヤル	241-4312
			環境保全係		

### 事業概要

- かけがえのない恵み豊かな環境を守り、次の世代へと引き継いでいけるよう、市民に対し環境問題に関する情報提供の機会として、市民の理解と啓発を図り、環境配慮型の行動が家庭を通じ、社会全体へと広がっていくことを目的とする。

### 現況と課題

- 市民に対し、環境問題に関する情報提供の機会として、理解と啓発は図られていると考えているが、更に多くの市民参加を得るためにイベント内容を充実させることが課題である。

### 今後の事業展開

- 引き続き、環境問題に積極的な団体、企業、NPO\*等を募るとともに、新たな企画等を取り入れ、より多くの市民に対し、環境問題に対する意識の高揚が図られるよう努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H24~26)
来場者数 (人)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	25,500
	8,000	8,000	8,500	8,500	8,500	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
	1,000		1,000	1,000	1,000	

<b>■明るくきれいなまちづくり基金事業</b> 【事業No.03080102】	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤル	241-4327
			減量係		

### 事業概要

- ごみの減量に対する市民意識の高揚を図るとともに、ごみの資源化、再生利用等のごみ減量施策を推進するため設置された「甲府市明るくきれいなまちづくり基金」を活用し、甲府市リサイクル推進員連絡協議会\*と協働して、自発的なごみ減量と資源リサイクルの推進を図る。

### 現況と課題

- 地域ぐるみとした取り組みの確立

### 今後の事業展開

- リサイクル推進員連絡協議会と協働連携して地域住民のごみ減量と分別意識の高揚に努め、地域ぐるみのごみ減量と資源リサイクルを推進する。
- 指定ごみ袋及びごみ処理券を使用していない不燃ごみ排出に対する適正排出指導。
- 減量目標 480g達成に向けて「ミックスペーパー\*の分別」や「生ごみのひと絞り」等の可燃ごみ減量に向けた地域住民への周知啓発と徹底

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
地域計画に基づく 家庭系ごみ量(ト)	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	51,925
	53,744	52,711	52,448	52,186	51,925	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
	5,200		5,200	5,200	5,200	

<b>■ごみ減量と資源リサイクル事業</b> <b>【事業No.03080103】</b>	担当部課係名	環境部	減量課	ガイライン	241-4327
			減量係		

**事業概要**

- 地球環境に配慮した施策の更なる推進により分別排出の一層の徹底を図るとともに、甲府・峡東地域循環型社会形成推進地域計画に基づく減量目標達成のための取り組みを展開していく。

**現況と課題**

- 減量目標である1人1日あたり生活系可燃ごみ排出量480g達成に向けて、更なる啓発運動の展開
- 市民にとって、より排出しやすい効率的な回収システムの構築
- 廃棄物の発生抑制に向けた、拡大生産者責任の原則の明確化

**今後の事業展開**

- 指定ごみ袋等による適正排出、ミックスペーパー・廃食油回収や有価物・資源物回収などの実践的事業を推進するとともに、「ごみへらし隊」などによる市民意識の向上や低年齢層からの環境教育などの啓発事業を充実し、ごみ減量化・資源化に向けた総合的な施策をより一層拡大していく。
- 啓発、指導業務を更に充実強化する中で、市民意識及び事業者意識の向上を図る。
- 新ごみ処理施設建設に伴い、施設から発生するスラグ等の有効活用を研究し、新たな中間処理施設におけるごみの資源化について構成市と協議を行っていく。
- より一層のごみ減量と資源リサイクルを推進するため、容器包装その他プラスチックや小型電気電子機器の分別回収を検討する。
- 可燃ごみの大きな割合を占める生ごみの減量化の取り組みとして、水切りモニターや食生活改善推進員等と協働連携し、生ごみの水切り排出の普及拡大を図る。
- 排出者の利便性向上のため、資源物24時間ステーションを拡充する。
- 新たな減量施策として、落葉の堆肥化事業を試行する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
家庭系総ごみ排出量削減率(%) (対:平成19年度基準)	△20.9	△23.1	△23.5	△23.9	△24.3	△24.3
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	433,892		433,913	432,693	463,113	

**02 ごみの減量化と発生抑制**

<b>■環境リサイクルフェア事業</b> <b>【事業No.03080201←No.03080101】再掲</b>	担当部課係名	環境部	環境保全課	ガイライン	241-4312
			環境保全係		

<b>■明るくきれいなまちづくり基金事業</b> <b>【事業No.03080202←No.03080102】再掲</b>	担当部課係名	環境部	減量課	ガイライン	241-4327
			減量係		

<b>■ごみ減量と資源リサイクル事業</b> <b>【事業No.03080203←No.03080103】再掲</b>	担当部課係名	環境部	減量課	ガイライン	241-4327
			減量係		

## 04 ごみ処理体制の整備

■ごみ処理施設建設事業 【事業No.03080401】	担当部課係名	環境部	総務課	ダイヤル	241-4311
			庶務係		

### 事業概要

- 甲府・笛吹・山梨・甲州の4市において広域の新ごみ処理施設を建設する。(甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合経費に係る関係市負担)

### 現況と課題

- 現有ごみ処理施設の使用期限が平成29年3月までとなっており、「再延長はできない」との覚書が地元対策委員会と締結したことから、平成29年度の新ごみ施設の稼働が確実なものとなるよう、事務組合と連携を図りながら進捗管理を行っていかねばならない。

### 今後の事業展開

- 平成29年度の新ごみ処理施設の供用開始が確実なものとなるよう、事務組合との連携・調整を行っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
建築スケジュール進捗率 (%)	平成22年度 —	平成23年度 4	平成24年度 10	平成25年度 14	平成26年度 23	23
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	—		381,426	641,580	302,990	

■最終処分場建設事業 【事業No.03080402】	担当部課係名	環境部	処理課	ダイヤル	241-4363
			施設維持係		

### 事業概要

- 最終処分場(境川処分場)建設事業に伴う市町村総合事務組合への甲府市分負担金。

### 現況と課題

- 現在、本市を含め山梨県内の市町村には中間処理施設から排出される焼却残渣(ばいじん、焼却灰)及び破碎残渣(破碎不燃物)の埋立を行える最終処分場がないため、県内の中間処理施設から排出される残渣の処分は全て県外の民間処理処分施設に依存している。

### 今後の事業展開

- 県内全市町村参加による組合立一般廃棄物最終処分場建設事業(平成30年度中の稼働予定)へ負担金を支出する。

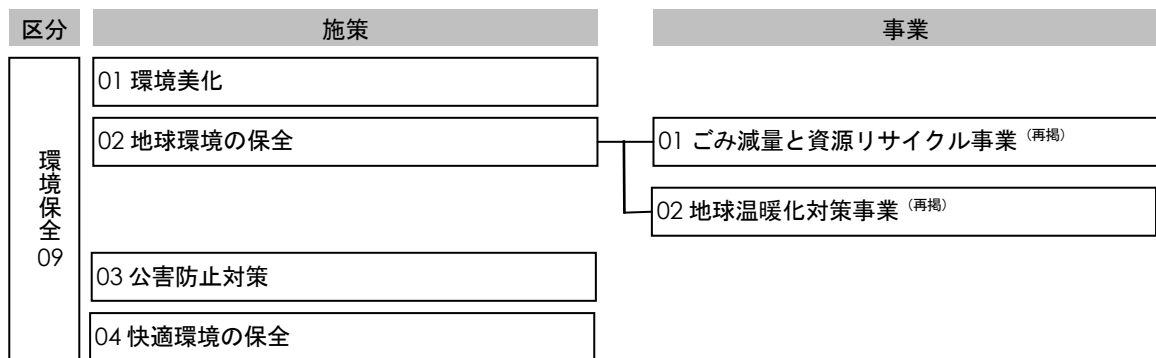
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
スケジュール進捗率 (%)	平成22年度 —	平成23年度 —	平成24年度 —	平成25年度 —	平成26年度 —	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	—		24,784	—	—	

## 9 環境保全

### 施策の基本的考え方

- 市民参加による河川清掃、不法投棄対策への取り組み等の環境美化活動の推進に努めます。
- 環境基本計画\*を推進し、地域からの地球環境保全や環境教育の充実、新エネルギー対策の推進に努めます。
- 特例市\*の権限を生かした、公害防止体制の充実や発生源監視体制の充実、苦情処理体制の充実に努めます。
- 環境衛生として、消毒機の貸出、飼い犬・野犬対策の指導・徹底に努めます。

### 施策・事業の体系



## 02 地球環境の保全

<b>■ごみ減量と資源リサイクル事業</b> <b>【事業No.03090201←No.03080103】再掲</b>	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤル	241-4327
			減量係		
<b>■地球温暖化対策事業</b> <b>【事業No.03090202←No.03010201】再掲</b>	担当部課係名	環境部	環境保全課	ダイヤル	241-4312
			環境保全係 温暖化対策係		

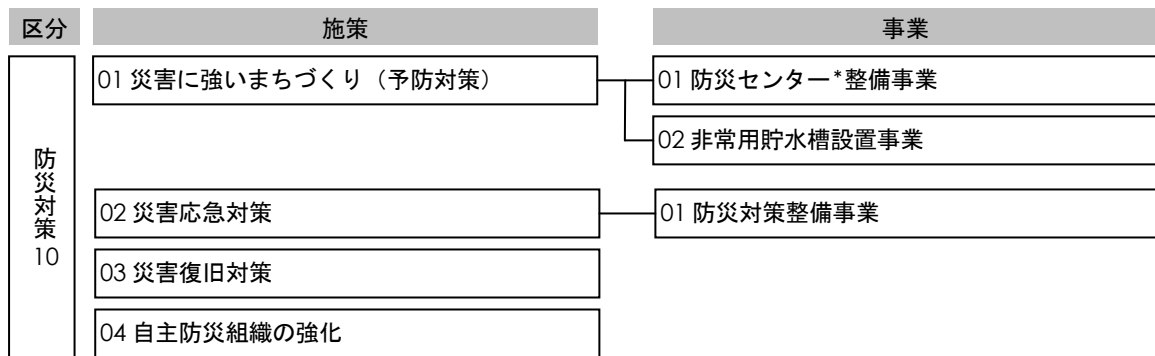


# 10 防災対策

## 施策の基本的考え方

- 地域防災計画の充実、防災意識の向上、建物等の耐震化・不燃化の啓発促進、避難路・避難場所の確保、急傾斜地等危険地対策の推進、情報システムの充実、緊急医療体制の確立、防災倉庫の整備充実、非常用貯水槽の整備充実、災害ボランティアの育成に努めます。
- 物資の確保、通信手段の確保、迅速かつ適切な救助・救急、医療及び消火活動、ライフライン\*・交通施設等の応急復旧に努めます。
- ライフライン\*の復旧対策、被災者の自立支援に努めます。
- 自主防災組織\*の強化、防災意識の高揚に努めます。

## 施策・事業の体系



## 01 災害に強いまちづくり（予防対策）

■防災センター整備事業 【事業No.03100101】	担当部課係名	企画部	防災対策課	ダイヤルイン	237-5331
			防災施設係		

### 事業概要

- 大規模地震等の災害発生時に備え、新庁舎の建設にあわせて防災センター機能を庁舎内に整備する。防災情報等の収集・発信を行う防災行政用無線を更新するとともに、市民の防災意識の高揚と災害情報の市民提供を目的とした防災情報コーナーの設置を行う。

### 現況と課題

- 防災行政用無線は、設置から約30年が経過して老朽化が進んでいることから、維持管理に苦慮している。
- 同報系無線は、旧甲府市（本庁局）、旧中道町（支所局）及び旧上九一色村（出張所局）の間を暫定的に電話線を利用して接続しているため、大規模地震の発生等により断線して利用ができなくなる可能性がある。
- 移動系無線は、旧3市町村ごとの通信エリアに限定されていることから、市内全域で通信可能となる防災行政用無線の整備が必要である。

### 今後の事業展開

- 防災行政用無線の更新工事は、平成23年度から平成25年度の3カ年で実施し、防災情報コーナーは新庁舎の完成に合わせて平成24年度に整備する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
防災センター整備事業の進捗率(%)	平成22年度 35	平成23年度 50	平成24年度 85	平成25年度 100	平成26年度	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	309,500		772,112	299,857	—	

■非常用貯水槽設置事業 【事業No.03100102】	担当部課係名	企画部	防災対策課	ダイヤルイン	237-5331
			防災施設係		

### 事業概要

- 非常用貯水槽を計画的に設置し、大規模地震等の大規模災害発生時に必要となる非常用飲料水を確保する。

### 現況と課題

- 今後30年以内の発生確率が88%と非常に高い東海地震等の大規模災害に備え、早期に、非常用飲料水の確保を行う。

### 今後の事業展開

- 非常用貯水槽の予定設置場所における建物の建築計画と整合性を図りながら、事業を進める。
- 平成24年度（新庁舎）に1基設置し、事業を完了する予定である。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
防災計画に対する非常用貯水槽の設置率(%)	平成22年度 91	平成23年度 95	平成24年度 100	平成25年度 —	平成26年度 —	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	80,000		70,000	—	—	

## 02 災害応急対策

■防災対策整備事業 【事業No.03100201】	担当部課係名	企画部	防災対策課	ダイヤル	237-5331
			地域防災係		

**事業概要**

- 地域防災力強化のため、住民が行う初期消火活動に必要な消火栓用器具格納箱を消火栓毎に設置する。
- 防災リーダーの自主性を育て地域の防災活動を活性化させるため、防災リーダーの指導育成研修会を開催し、防災リーダーの能力の向上を図っていく。
- 自主防災組織が災害発生時にいち早く対応するため、必要な防災資機材等の確保を行い、その使用方法の訓練を実施する。
- 災害発生時に必要となる備蓄非常用食料等に関して必要量を確保する。
- 新規に自主防災組織を結成した自治会に、地域における防災態勢の強化を図るために補助金を交付している。

**現況と課題**

- 東海地震等の発生が懸念される中、自治会から防災資機材等の整備のための支援要望がある。
- 消火栓用器具格納箱は、老朽化、破損等も増加し維持管理費が増加している。
- 大規模地震に備えた、きめ細かな備蓄品の整備が必要である。

**今後の事業展開**

- 備蓄されている防災資機材等については、計画的に点検、修理していく。
- 災害時に自主防災活動が迅速に行えるよう、防災倉庫を設置し、防災資機材等を配備していく。
- 防災リーダーの指導育成研修会のカリキュラムを充実させるとともに、登録制度を導入し、自主防災組織の育成・強化をさらに図っていく。
- 東日本大震災を教訓に、備蓄非常用食料や備蓄資機材の増量などきめ細かな備蓄を進める。

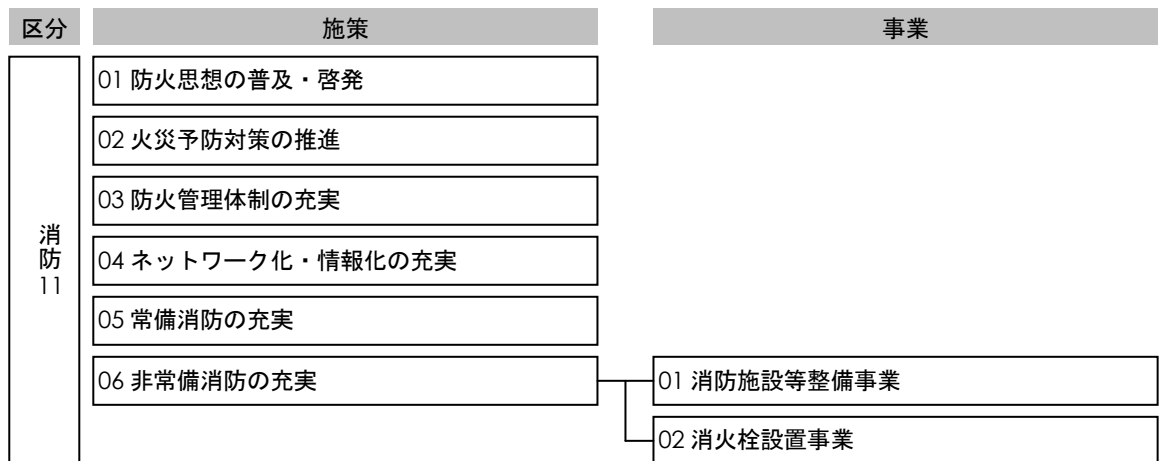
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24～26)
			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
消火栓器具格納箱一式の 設置率(%) (消火栓器具格納箱数/消火栓数)	58	59	60	61	62	62
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24～26)
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
	19,728		45,034	30,540	30,566	

# 1 1 消防

## 施策の基本的考え方

- 火災予防に向けての防火思想の啓発に努めます。
- 予防・査察体制の強化、危険物等の安全指導の充実に努めます。また、住宅火災予防対策として、住宅用火災警報器等の設置推進に努めます。
- 事業所などの防火管理体制の充実に向けた指導に努めます。
- 高機能消防指令センターを活用し、住民の安心・安全に努めます。また、庁内ネットワークを活用し、効率的な消防行政の推進に努めます。
- 消防施設及び装備の強化に努めます。
- 消防団車両及び資機材の整備・充実、消防団員の確保と資質向上、耐震性消防水利施設の整備に努めます。

## 施策・事業の体系



06 非常備消防の充実

<b>■消防施設等整備事業</b> 【事業No.03110601】	担当部課係名 消防本部	警防課・人事課	ダイヤルイン	222-4119
		警防係・消防団係		

**事業概要**

- 災害時に有効に活用できるよう整備するとともに、市民の生命・身体及び財産を守り、被害を最小限に抑えることを目的とする。

**現況と課題**

- 合併により、積載車及び小型動力ポンプ各8台が増加し、さらに更新サイクルが長期化するため、更新台数を増加する必要がある。  
また、耐震性貯水槽の設置にあたり、官地及び市有地等、設置場所の確保及び工事費の増額が課題となっている。

**今後の事業展開**

- 各分団に配備してある小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプを計画的に更新するとともに、常時良好に運用できるよう点検、整備を図る。
- 耐震性貯水槽は、災害発生時に最も有効な水利であり、設置を継続的に実施することにより、市民生活の安全が確保できるという観点から、継続的な事業推進が必要である。今後は、区画整理事業などと併せて整備が出来るよう関係部局と連携を図りながら設置を検討する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
耐震性貯水槽設置進捗率 (設置延べ数/設置計画数) (%)	96	98	98	100	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	56,417		26,134	56,542	26,764	

<b>■消火栓設置事業</b> 【事業No.03110602】	担当部課係名 消防本部	警防課	ダイヤルイン	222-1269
		警防係		

**事業概要**

- 市街地及び周辺地域に消火栓を設置することにより、火災発生時における住民による初期消火活動が容易になり、消防隊の水利部署により有効に火災防御ができる。

**現況と課題**

- 消防水利の基準に基づき計画的に設置をしているが、住宅密集地等の道路幅が狭く、消防車両が進入出来ない地域や、水道配管の口径が消防水利の基準に適合しない地域など、消火栓を設置できない地域がある。

**今後の事業展開**

- 消火栓設置事業については、消防隊による実際のホース延長など図面上の設置計画だけでは実情にそぐわない箇所や、宅地開発、道路拡幅工事などにより消火栓の設置必要箇所の増加が見込まれるため、引き続き事業の推進が必要と思われる。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
消火栓設置進捗率 (当該年度の実績/当該年度の目標) (%)	89.5	100	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	9,130		9,130	9,130	9,130	

## 1 2 防犯対策

### 施策の基本的考え方

- 犯罪や非行のない明るい社会を築くために市民一人ひとりの防犯意識の向上に努めるとともに、街路灯の経費助成を行うなど犯罪を誘発しない環境づくりに努めます。
- 関係機関との連携による防犯体制の強化に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
防犯対策 12	01 地域防犯力の向上（地域防犯活動の促進・支援）	01 街路灯助成事業
		02 学校防犯対策事業（再掲）
	02 防犯体制の強化	01 街路灯助成事業（再掲）
		02 学校防犯対策事業（再掲）

01 地域防犯力の向上（地域防犯活動の促進・支援）

■街路灯助成事業 【事業No.03120101】	担当部課係名	市民生活部	市民対話課	ダイヤル	237-5298
			地域振興係		

**事業概要**

- 防犯及び交通安全対策のために、自治会が維持管理している街路灯に要する経費（電気料、設置費、撤去費、及びLED灯設置交換費）の補助を行い自治会負担の軽減を図り、安全で明るい地域社会の形成に寄与する。

**現況と課題**

- 自治会が設置している街路灯及び新たに設置する街路灯を地球環境（CO2削減）にやさしいLED灯に移行していくことが求められている。

**今後の事業展開**

- 自治会連合会を通じて単位自治会が設置する街路灯について、新たにLED灯を設置した場合の補助要項を追加し、LED灯化を促進していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H24~26)
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
助成対象灯数	21,116	21,223	21,537	21,922	21,922	65,381
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	48,912		56,690	53,890	53,890	

■学校防犯対策事業 【事業No.03120102←No.02010501】再掲	担当部課係名	教育部	学事課・学校教育課	ダイヤル	223-7322
			学事係・学務係		

02 防犯体制の強化

■街路灯助成事業 【事業No.03120201←No.03120101】再掲	担当部課係名	市民生活部	市民対話課	ダイヤル	237-5298
			地域振興係		

■学校防犯対策事業 【事業No.03120202←No.02010501】再掲	担当部課係名	教育部	学事課・学校教育課	ダイヤル	223-7322
			学事係・学務係		

# 13 消費生活

## 施策の基本的考え方

- 消費者が自主的合理的に行動できるよう消費者の自立支援に努めます。
- 消費者に対し、消費者教育の充実に努めます。
- 消費者相談の充実に努め、適切かつ迅速な処理を進めます。
- 消費者モニター制度\*の推進と適正な計量の実施の確保に努めます。

## 施策・事業の体系

区分	施策	事業
消費生活 13	01 消費者利益の擁護及び増進	
	02 消費者教育の推進	
	03 消費者相談の充実	
	04 適正な計量の実施	



## 1 4 交通安全対策

### 施策の基本的考え方

- 関係機関との連携による交通安全意識の向上に努めます。
- カーブミラーなど各種交通安全施設の点検・整備、甲府市交通安全計画に基づく諸施策の推進に努めます。
- 交通災害共済への加入促進と交通事故相談体制の充実に努めます。

### 施策・事業の体系

区分	施策	事業
交通安全対策 14	01 交通安全意識の向上	01 交通安全対策事業
	02 交通環境の整備・向上	01 交通安全施設整備事業 02 自転車対策事業
	03 交通事故被害者の救済	

## 01 交通安全意識の向上

<b>交通安全対策事業</b> <b>【事業No.03140101】</b>	担当部課係名 市民生活部	消費生活センター	ダイヤルイン 237-5303
		交通安全係	

### 事業概要

- 正しい交通ルールと交通マナーの徹底と交通安全意識の高揚を図る。
- 交通安全施設の整備を推進する。

### 現況と課題

- 平成23年度は全体の事故件数及び死亡事故は減少したものの、歩行者と車両の関係する事故の割合が高く、なかでも65歳以上の高齢者が関係する交通事故の割合が年々増加している。また近年、道路交通法をはじめとした関係法規の改正等の整備が進められており、市民への周知が求められる。このような中で、さらなる交通事故防止を強力に推進し、市民一人一人が思いやりを持って、命の尊さを認識し交通安全に真剣に取り組むよう、交通安全思想の普及と認識の徹底を図ってゆく必要がある。
- 交通安全施設の整備については、厳しい財政事情の中、地元の要請にも十分に答えられない状況にあり、設置申請の受理から設置までの期間が長期化する傾向にある。

### 今後の事業展開

- 山梨県や地元の警察署をはじめとする関係機関及び団体との連携・協調のもと、春・秋の全国交通安全運動をはじめ、各種の交通事故防止事業等に参画するとともに、幼児・児童・小学校PTA及び高齢者を対象に交通安全教室を充実し、交通安全意識の高揚に努める。
- カーブミラー・自発光式交差点鏡の交通安全施設の整備を進めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
甲府市内における交通事故発生件数	2,122	1,961	1,680	1,680	1,680	1,680
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	6,680		8,173	8,173	8,173	

02 交通環境の整備・向上

<b>交通安全施設整備事業</b> 【事業No.03140201】	担当部課係名 都市建設部	道路河川課	ガイヤルン	237-5843
		道路係		

**事業概要**

●市民の交通安全の確保及び交通事故防止を目的に、甲府市が管理する道路における、交通安全施設の整備充実を図る。

**現況と課題**

●交通安全対策特別交付金制度の活用による事業であるため、事業対象の範囲、規格が制限される。

**今後の事業展開**

●市民生活における交通上の安全と快適性に貢献する事業として、交付金を活用し、交通安全担当や警察関係者とも協議を行い、必要とされる交通安全施設の設置を年次的に推進する。  
 また、道路の新設・改良等により道路案内標識の設置・変更が必要な箇所に、案内標識の設置・改良を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
交通安全施設の執行率(%) (設計金額/予算金額)	105	107	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
	55,707		49,831	50,000	50,000	

<b>自転車対策事業</b> 【事業No.03140202】	担当部課係名 市民生活部	消費生活センター	ガイヤルン	237-5303
		交通安全係		

**事業概要**

●市営駐輪場を利用することで甲府駅周辺及び中心商店街の放置自転車を解消し、まちの景観の保全や通行障害の解消に繋げる。

**現況と課題**

●中心街の市営駐輪場は、買い物客が店舗前に駐輪して買い物をするため、利用が少なく、放置自転車禁止区域を設置するには、商店街の理解と協力が必要である。  
 ●安価で買える自転車の増加に伴い、長期放置自転車が増加している。

**今後の事業展開**

●道路管理者と連携を図り、歩道や道路の放置自転車の撤去や市営駐輪場内の放置自転車等の実態を定期的に把握し、長期放置自転車の撤去を行う。  
 ●自転車利用マナー向上の啓発を図る。  
 ●中心街の駐輪場については、桜町市営駐輪場の更なる利用率向上と、より利便性の高い新たな施設の開設に向けて取り組んでいく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H24~26)
			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
市営駐輪場の利用率(%) (利用台数/収容可能台数)	59.5	63.0	80	80	80	80
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H24~26)
	平成 23 年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	
	5,207		5,454	5,214	5,214	